

〔長久手町業務評価票：平成19年度業務〕

課係NO・業務NO	□□□□-□□・□□	総合計画	□4節□2項	文化活動支援体制の整備
担当課・係名	中央図書館 図書係【問合せ・質問等の先（内線番号）63-8006番】			

業務の名称	図書館資料整備管理業務						
(1) 根拠法令・条例	図書館法、公共図書館の設置及び運営上の望ましい基準、長久手町中央図書館の設置及び管理に関する条例、同規則						
(2) 当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の <u>30</u> % (系の総業務量を100%とする) 職員延人数： <u>281.9</u> 人・日 (臨時雇用者延人数： <u>27</u> 人・日)						
(3) 事業費 (人件費分を除く)	<u>23,488</u> 千円 (平成19年度決算(細目・細々目の実績から抽出・算定する))						
(4) 補助率(補助金がある場合のみ記載)	<u>0</u> % (平成19年度実績)						
(5) 業務期間	開始した年度	平成4年度	終了(予定)年度	年度			
(6) 業務の概要 (簡潔に箇条書きで記載)							
①業務目的 (達成目標)	公共公平性を基本に、地域特性と時代性に配慮した資料の質的向上						
②業務が対象とする住民 (地域、層)	資料提供を求めるすべての者、図書館の利用を希望する者						
③業務の具体的な実施内容・方法 (平成19年度実績)	新刊図書、雑誌の迅速な確保と整備 郷土資料、行政資料の確保と整備 視聴覚教材の確保と整備 新聞の整備 書誌データと正確かつ迅速な検索システムの整備						
④業務の実施結果 (平成19年度実績)	目的を柱に、計画的・広角的な各種資料を購入した。						
	【業務結果の説明指標】						
		結果の説明指標	17年度	18年度 実績	19年度 実績	20年度 目標	将来目標
1	図書資料購入 (冊)		10,781	10,896	10,839	10,000	
2	視聴覚資料購入 (点)		192	118	40	180	
3	雑誌購入 (冊)		101	101	102	102	
4	新聞購入 (誌/月)		12	12	12	12	
5							
⑤業務の成果 (業務目的の達成状況) (平成19年度実績)	平成17年7月から広域貸出を行い、利用者が増加している。						
	【業務成果の説明指標：基本計画準拠】						
		成果の説明指標	17年度 実績	18年度 実績	19年度 実績	20年度 目標	将来目標
1	蔵書点数 一般		102,373	106,521	111,121	118,000	
2	" 児童		46,671	49,329	51,940	55,000	
3	" 郷土資料		4,612	4,919	5,226	5,500	
4	" AV資料		4,609	4,710	4,766	4,900	
5	" 雑誌		4,580	4,822	4,179	4,500	

(7) 遂行上の問題点、取組課題（箇条書きで簡潔に記載）
選書から配架までの多種に及ぶ業務と書架整理業務の人員不足。

(8) 改善実績（過去3年間の実績）
平成17年7月から広域貸出を行い、利用者が増加した。

(9) 業務の評価（自己診断）		
評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
①目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	4点
②コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	3点
③業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	3点
④住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	3点
⑤総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	3点
⑥他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	3点
		平均 3.2点

(10) 総合評価（課の見解）	
①今後の方向 (該当番号に○印)	1. 前年度と同じく、そのまま継続する。 2. 見直して継続（業務の拡大） 3. 見直して継続（業務の縮小） ④見直して継続（方法の改善） 5. 見直して継続（他業務と統合） 6. 廃止する。 7. 休止する。
②評価理由	この業務は過去からの積み上げにより成し得るものである

(11) 今後の目標・改善方針（具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること）
書架整理業務を始めとする図書館業務の増加については臨時的任用職員、ボランティアなどの人的増強を求めていく。